

## 「平成30年度全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年、4月17日に実施された「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

この「平成30年度全国学力・学習状況調査」は、

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○上記のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

ことを目的に毎年、小学校第6学年と中学校第3学年を対象に実施されています。

そこで、本年度の笠岡東中学校第3学年の結果について報告いたします。

### 1. 調査の結果について

#### ①学力調査の結果

国語・数学・理科ともに、全国平均及び県平均に及びませんでした。国語では、漢字の読み書きといった、基礎的な力は定着していますが、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題があります。数学では、基本的な知識・計算力が身につけていないため、授業や朝学習などで継続して基本的な計算問題に取り組み、定着を図る必要があります。理科では、第2分野の生物的領域についての力は比較的定着していますが、第1分野の物理的・化学的領域に課題があります。

#### ②学習状況調査の結果

「授業中、生徒間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしようとする意識が高まっている。」「ボランティア活動などを通じ、地域・社会への交流ができています。」といった結果が出ています。このことは本校が大切にしている「学び合いのある学習」や「生徒会を中心にしたボランティア活動」の取り組みの成果の一つであると思われます。課題としては、家庭での学習時間が少なく、特に平日の学習が1時間未満、もしくは全くしていない生徒の割合が高いことです。

### 3. 今後の取組について

学力の向上及び学習状況の改善に向けて、これまで以上に学習意欲の向上を図る授業づくりと基礎学力の定着、家庭学習時間の確保をめざして取り組んでいきたいと考えています。具体的には次のような取組をすすめます。

#### ①学力の向上に関する取組

○ICTの積極的な活用やグループ活動（学び合い）を取り入れ、学習意欲が高まり、分かる授業づくりを一層すすめます。

○テーマを設定して300字程度の小作文指導を繰り返し行います。

○放課後の補充指導等を通して、個別指導の充実を図ります。

○生活ノート（基礎問題付き）を使った、基礎的・基本的事項の小テストを定期的に全校で実施します。

#### ②学習状況の改善に関する取組

○家庭学習の状況についてアンケートや生活ノートを活用して、家庭学習の状況を確認します。

○家庭学習の時間を確保するために、生活ノートに自主学習スペースと練習問題の欄を設け、家庭学習の時間の確保を図ります。

○家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の取り組み方の指導を行います。